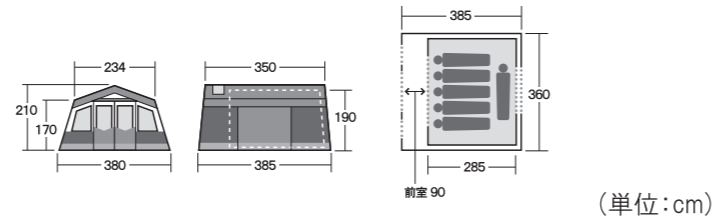
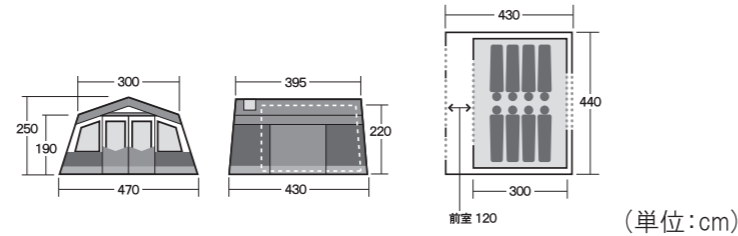


設営時寸法

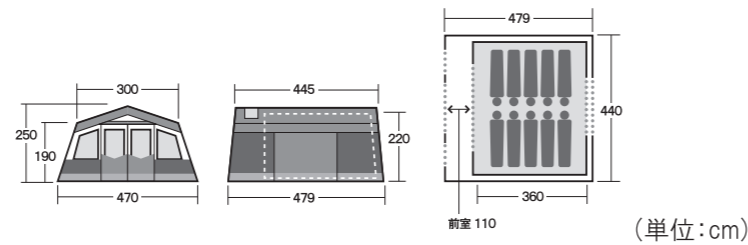
常設用テント HG6 6人用



常設用テント HG8 8人用



常設用テント HG10 10人用



快適にお使いになるために

◎固定について 常設用のテントは一般キャンプ用のテントに比べ、はるかに丈夫な設計になっています。そのため、重量も重く、地面への固定はしっかりと確実にする必要があります。地面の状態に合わせて適切な固定方法で固定してください。

地面がしっかりと固く、また水はけがよく、ぬかるまない地面。

ペグが打ちやすい地面は、同時にペグが抜けやすい地面でもあります。事前にペグを打ってみてしっかりと打ち込めるか確認してください。同じ太さのペグなら、長いほど表面積が大きくなり抜けにくくなります。

やわらかい芝生・土・砂の地面、石混じりの地面

地面がやわらかく、ペグがきかない、または、川辺の地面のように石が多くペグが完全に地中に打ち込めないような場所ではペグでの固定は危険です。テントデッキを設置し、ボルトとナットで固定してください。

△ アスファルトやコンクリートの地面にペグで固定するような設置はお止めください。

◎保証について 本製品は、厳密な品質管理体制の下、小川キャンパルの技術と長年の経験を生かして製造されています。万一、品質不良が認められた場合には、無料で修理または新品と交換させていただきますので、当社の「カスタマーサービス係」までご一報くださいますようお願い致します。また、一年以内に正常なご使用にもかかわらず破損した場合には、無料で修理致します。ただし、次のような場合には、お買い上げ1年以内であっても有償修理となります。

- 商品用途以外のご使用、および不当な修理や改造による故障・損傷
- 台風、地震、火災、風水害などの天災による故障・損傷
- ご使用後のキズ、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷
- 取扱説明書を無視した使用による故障・損傷
- 紫外線などによる生地劣化

◎保管について ご使用後は、完全に乾燥させてから、日光の当たらない風通しの良いところに保管してください。

- 幕体の汚れを落とす場合には、水で洗い流すか、乾燥した状態でブラシなどで払い落としてください。洗剤を使用したり、強くこすったりすると、生地外側の撥水性性能(テフロン加工を含む)が極端に低下しますので、ご注意ください。
- 生地の外側を洗う時には、内側の防水コーティング面を傷つけないように注意してください。洗濯機で洗濯したり地面にこすりつけたりすると、コーティング面に傷がつく事があります。また、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。コーティング剤が溶ける可能性があります。なお、濡れたまま放置しておく、カビが発生したり、含まれている水分が腐って悪臭の原因ともなります。
- ポールやファスナー部分は完全に乾燥させ、付着した泥などを拭き取って収納してください。防錆潤滑剤スプレーなどを吹きかけておくと、サビの防止にもなります。海の近くで使用した場合には、幕体とポールをよく水洗いし、塩分を取り除いて、十分に乾燥させてください。
- 幕体を濡れたまま高温になる場所に放置しておく、極端な色移りや生地の劣化などが生じます。なるべく早く完全に乾燥させてから日光の当たらない風通しの良いところに保管してください。

◎修理について

修理を依頼される場合には、汚れを極力落とし、乾燥させた状態で、お買い上げになったお店に修理箇所を明示の上、ご相談ください。なお、修理費用につきましては、現品確認の上、算出させていただきます。また、この往復の運賃は、お客様のご負担とさせていただきます。※現品確認時及び修理見積り時に別途費用が発生する場合がございます。

お問い合わせはこちら

フリーアクセス
[FREE] ひかりワイド 0800-800-7120 (通話料無料)
9:00~17:30 (土日・祝日は除く) ※「050」から始まるIP電話は、ご利用いただけません。

CAMPAL JAPAN
キャンパルジャパン株式会社

本社/〒135-0031
東京都江東区佐賀1-5-4 アーバンサガ3F
TEL 03-3641-7127(代) FAX 03-3641-3972(代)

取扱説明書

保管用

常設用テント HG6・HG8・HG10

◆ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

◆この「取扱説明書」をお読みにになった後は、お使いになる方が、いつでも見られる所に保管してください。ここには安全上に関する重要な注意事項を示しています。製品を安全に正しくご使用頂き、危害や損害を未然に防止するために必ず守ってください。

◆本製品に付いている警告ラベルをはがさないでください。万一とれてしまった場合は、必ず同じ場所に付け直してください。

安全上のご注意

ご使用される前に良く読み、必ず一度建ててみてください。
▲ 記号は警告・注意の内容であることを表します。

警告

誤った取扱いをした時に、死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

使用前に必ず取扱説明書を良く読み、一度組み立ててください。

実際、ご使用になる前に、取扱説明書通りにポール・幕・付属品がセットされているかを確認し、必ず一度組み立ててください。まれに縫製上の不備やセットミスなどにより、テントが建てられない場合があります。テントを収納する際は、不具合が見られないか調べ、パーツの数量を確認してください。

テント内では換気に十分注意し、時々換気を行ってください。

結露が起こったり、濡れた外幕が風圧などにより密着した場合には、通気性が低下し、ひどい場合には酸欠により死にいたることもあります。メッシュの窓などを有効に活用し、換気を行ってください。また、テント内での喫煙や、練炭などの使用もおやめください。

強風、豪雨、降雪などの悪天候時には、危険ですから使用しないでください。

強い雨を伴う雨が降っているような時や豪雨の時には、屋根にたまるみが出て水が溜まったり、また、降雪時には雪が滑り落ちず屋根で凍結し、そのうえに雪が積もるなどしてテントがつぶれる危険があります。あらかじめ悪天候が予想される場合は、天候が悪化するまえに事前にテントを撤収してください。

台風や、落雷のときにはテントから出て、安全な場所に避難してください。

悪天候が予想される状況下で、キャンプを強行する事は非常に危険です。また、悪天候の時には、テント内は安全ではありません。台風など強風が吹いている場合には、テントをどんなにしっかりと固定しても、つぶれたり吹き飛ばされたりする可能性があります。また、テントに落雷する可能性もあり危険です。なお、キャンプ場の避難場所は必ず、事前に確認しておいてください。

テントの中やテント近くでは絶対に火気を使用しないでください。

- テントに使用されている防水加工生地は、熱に弱く、燃えやすくなっています。
- 火気を使用した場合、テントが燃えたり、ケガの原因になります。
- テント内部の照明はバッテリー式のランタンや懐中電灯を使用してください。

海外で使用される場合は、事前に弊社の「カスタマーサービス係」までご相談ください。

本製品は、日本国内での使用を前提としております。海外で使用し、事故などによりケガや損害が生じた場合、十分な対応ができません。

注意

誤った取扱いをした時に、人が傷害を負ったり物的損害の可能性のある内容を示しています。

テントは必ず2人以上で組み立ててください。

1人で組み立てると、テント生地やポールに無理な力がかかりやすく、テントが破損する場合があります。また、事故により負傷した場合、1人では適切に処置ができないことがあり危険です。

設営・撤収時には必ず手袋(軍手)などをはめ、フレームなどに指や手をはさめないようにしてください。

ポールを扱う場合には、周囲に十分気を配りながら、事故やケガのないよう設営してください。

不用意にポールを取り回すと、周囲の人にケガをさせたり、車などにキズをつける可能性があります。

テントは必ず適切な固定方法でしっかりと固定してください。

- 風でテントが飛ばされたり、屋根部に水が溜まってテントがつぶれる危険があります。テントが吹き飛ばされた場合には、人や車、他のテントなどに当たって大きな損害になる可能性があります。
- 地面との固定箇所は、必ず全箇所固定してください。また、補強用張綱も全箇所しっかりと固定してください。

長期に渡って設営する場合は、定期的に点検を行ってください。

就寝時や、強風時、雨天時には、ファスナーの開閉部を閉じてください。

夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風でテントが飛ばされたり、雨水が張り出しに溜まってテントがつぶれる危険があります。

組み立て方法

1

HG6・HG8のフレームパーツ

- 合掌A 4本
- 合掌B 2本
- 棟 1本
- 軒A 1本
- 軒B 1本
- 脚A 4本
- 脚B 2本
- 脚C 2本
- 裾F 4本
- 裾D 2本
- 裾E 1本
- 六角ボルト 16ヶ ナット 16ヶ

HG10のフレームパーツ

- 合掌A 6本
- 合掌B 2本
- 棟 1本
- 軒A 1本
- 軒B 1本
- 脚A 4本
- 脚B 4本
- 脚C 2本
- 裾A 2本
- 裾B 2本
- 裾C 2本
- 裾D 2本
- 裾E 1本
- 六角ボルト 20ヶ ナット 20ヶ

※上記のフレームパーツ構成図はHG8の構成で表記してあります。
HG6の場合、基本構成は上記通りですがHG8とサイズが全て違います。
また、裾Eにあたるフレームパーツは2本継ぎになります。

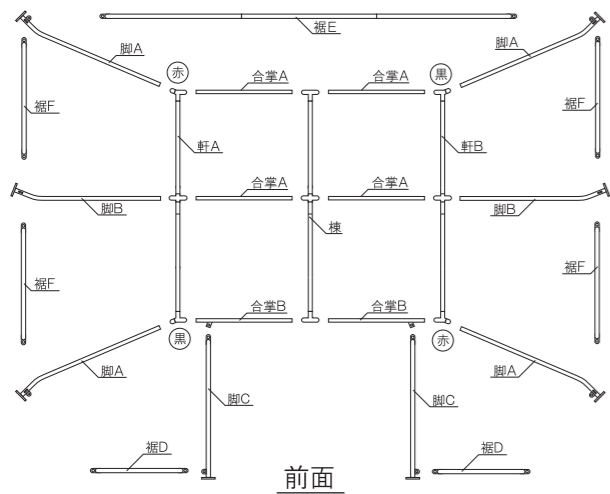
パーツを確認します。

幕体(外幕×1、内幕×1、幕体収納袋×1、杭袋×1、フレーム収納袋×3)と上記のパーツがセットされているかを確認します。

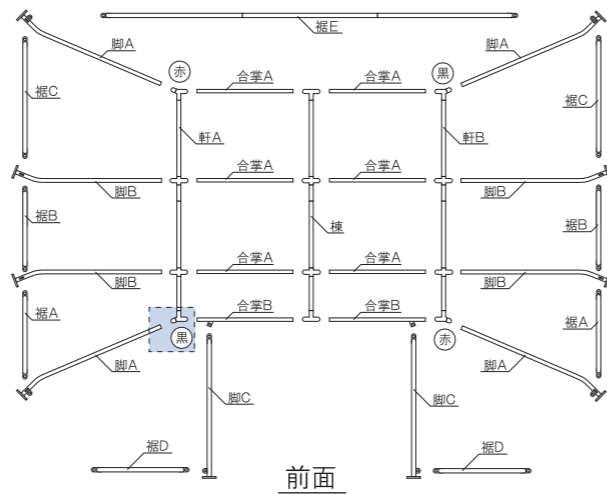
本製品にはハンマー、杭はセットされていません。
地面の状態にあわせて適切な固定用具をご購入ください。

2

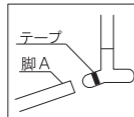
HG6・HG8のフレームパーツの配置



HG10のフレームパーツの配置



※上記のフレームパーツ配置図はHG8の構成で表記してあります。
HG6の場合、基本構成は上記通りですがHG8とサイズが全て違います。
また、裾Eにあたるフレームパーツは2本継ぎになります。



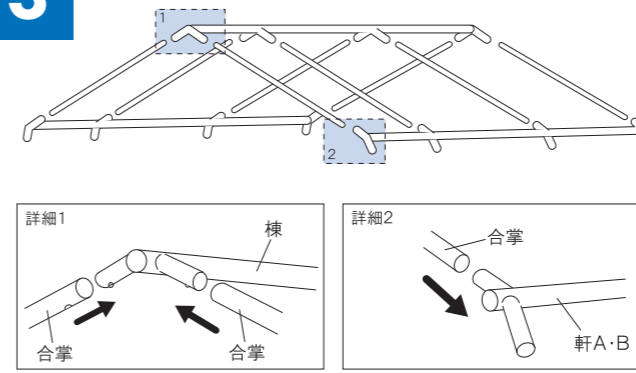
フレームを配置します。

平らな場所を選び整地します。次にフレームパーツを地面に配置します。
この時、棟・軒A、Bはそれぞれ接合部をつなぎ、前後を間違えないように配置してください。

軒A・Bに貼られたテープの色と角度で前後の向きを合わせてください。

2

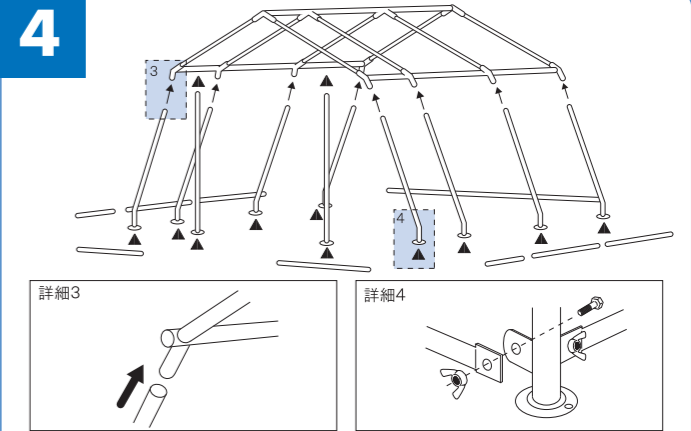
3



屋根部のフレームを組み立てます。

棟・軒A、Bをそれぞれ合掌でつなぎます。
棟・軒A、Bに付いているポッチを合掌のガイドに合わせポッチが穴から出るまで押し込んでください。(詳細1・2)
屋根部が組み上がったならテントを張る位置を再度確認してください。
差し込む時には、危険ですのでポッチの部分には触れないでください。

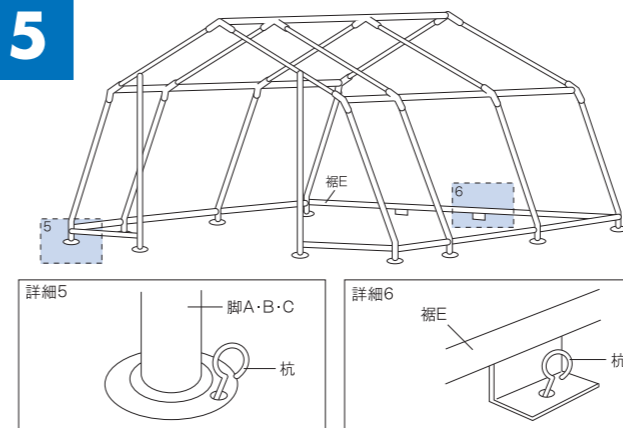
4



脚フレーム、裾フレームを組み立てます。

脚A、Bを組み立てます。脚フレームの先端を軒フレームのジョイント部分に差し込んでください。(詳細3)差し込む際は、屋根部分の片側を持ち上げ屋根を傾けて片側の脚を差し込み、その後にもう一方の側面を持ち上げて残りの脚を差し込んでください。脚Cを組み立て、最後に裾フレームを組み立てます。
▲の部分に付属のボルトとナットで固定してください。(詳細4)

5

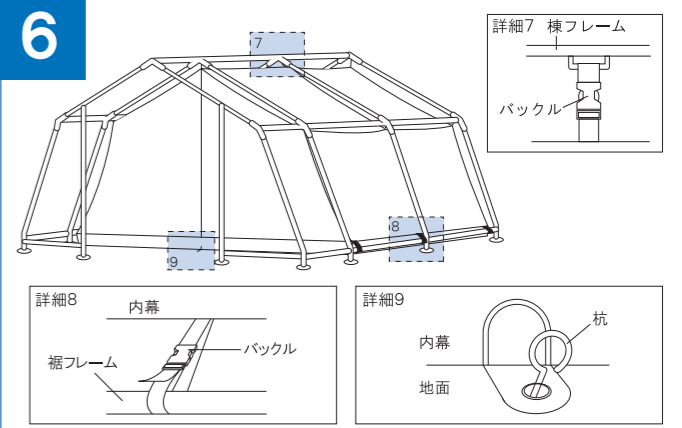


フレームを地面に固定します。

脚A、B、Cと裾E中間部の計12ヶ所の座板の穴に杭を打ち込み地面に固定します。(詳細5・6)

テントデッキに固定する場合はボルトとナットで固定します。
テントデッキの厚みと座板の穴(φ9)に合う規格のものをご用意ください。

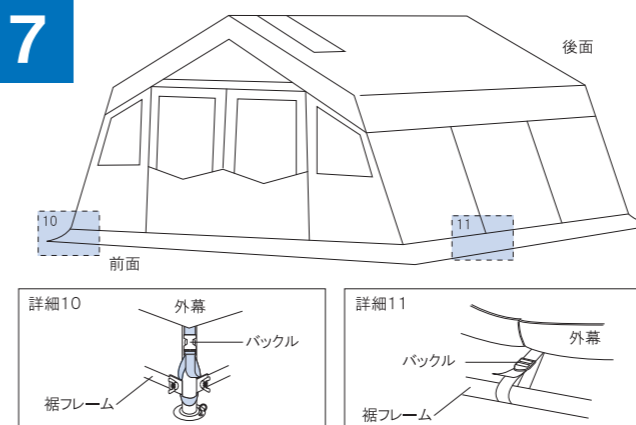
6



内幕を固定します。

天井部にある9ヶ所のリングにバックルを通し、固定します。(詳細7)
内幕裾部分にある7ヶ所のバックルをフレームに巻きつけて固定します。(詳細8)
幕にシワ・タルミがないように全体の張り具合をバックルで調整してください。
床面の四隅と前・後面の中間部(6ヶ所)を杭で固定してください。(詳細9)

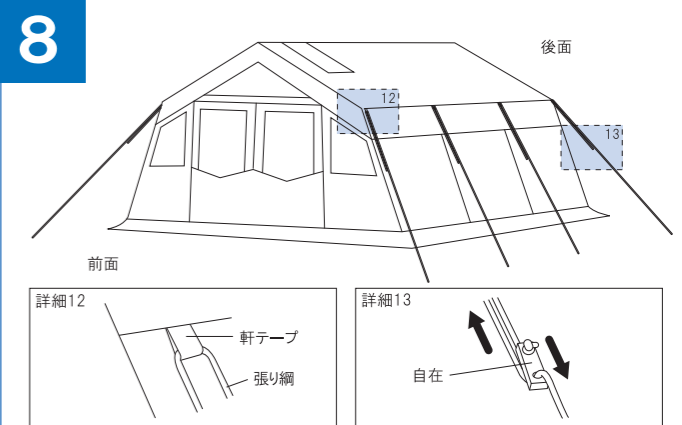
7



外幕をかぶせます。

外幕の前・後面を確認してフレームにかぶせます。
その時、屋根のパネルがフレームと合うように整えてください。
外幕の四隅と側面、前・後面の裾部にあるバックルをフレームに巻きつけて固定します。(詳細10、11)
シワ、タルミが無いように全体の張り具合をバックルで調整してください。

8



張り綱を張ってテントを補強します。

外幕にある8ヶ所の軒テープに張り綱を通します。
端を杭で固定してから自在で張り具合を調節してください。(詳細12・13)
強風に備えて張り綱は必ず使用してください。また、張り綱にタルミが見られたらすぐに増締めしてください。

3